

認定NPO法人こつこつ 6期(2022年6月～2023年5月)報告書

いつも応援ありがとうございます。

おかげさまでこつこつは6期の活動を無事に終えて、7期になりました。

こんなに長く続けられているのは、皆様のご支援とご協力のおかげだと思っています。僕たち当事者は一人では何もできないのですが、皆さんと一緒に活動をしてくださるおかげで、僕たちにも様々な体験や学習をさせてもらえたり、NPO法人の運営をすることができています。僕たちに寄り添い、僕たちの心の声を聞こうとしてくださり、色々な面で一緒に支援してくださる方がいてくださるおかげだと思っています。心から感謝しています。

僕たちにとってこつこつの活動は、今まで何もできないと思われてきた人たちにも、適切な支援があれば、意思を伝えていろいろな活動に参加できることを教えてくれています。まだ何もできないだろうと思われている人達にもこつこつのことを知ってもらい一緒に活動できたらいいと思っています。

こつこつの活動は、コロナウイルスがインフルエンザと同じになったということで、会場で開催する機会が増えてきました。それでも、コロナはまだ流行り続けていて、僕たちのように体が弱い人はかかると大変なので、寄付や助成金を頂き、参加者に抗原検査をしてもらうことで、安心して活動ができるようになっていきます。

6期では、竜馬さんのコンサートやオペラ鑑賞会や映画鑑賞会も開催できました。久しぶりに会場でみんなと会える喜びをかみしめたメンバーのうれしそうなお声や笑顔がとても印象的でした。会えない・手をつなげない、そういう時期を乗り越えて会えた時の喜びは格別です。これからも、みんなで体に気を付けながら、安心して活動ができるように頑張っていきたいと思っています。

これからもどうぞご支援ご協力よろしく申し上げます。いつも本当にありがとうございます。

当事者理事 里見英則（通訳支援：里見見千子 漢字変換・改行：事務局）



2022年10月テキスト制作委員会にて。
久しぶりの会場開催ということでパーテーションも使用し、
感染症対策を万全にして実施しました。

目次

当事者理事から	1
事業報告	
学習会サロン	2
よりみちサロン・相談事業	6
普及啓発事業	7
会計報告	8
今後の活動予定	10
ご支援をいただいた皆さま	11
お知らせ	12



当事者研究

ファシリテーター:水谷みつるさん (こまば当事者研究会)

「将来の住まい方」「人との関係」という、みんなに共通で永遠とも言えるテーマについて、会場とZoomのハイブリッド形式で意見を交換しました。

会場で通訳支援者が読み取りをすることで、言葉を伝えられる方が多くいます。当事者研究では特に、会場開催で一人ひとりの気持ちを聞くことを大切にしています。



@新宿落合第一地域センター/Zoom

- 色々な考えがあることを知り、自分とは違う考えがあることに気がつくことで気分が楽になったり、みんなも同じなんだと安心したりできるから心が落ち着きます。(当事者)
- 今回のテーマは切実な問題だったので、会場からの参加で、通訳支援者に本人の気持ちを読み取って頂き、また本人の気持ちを沢山知ることが出来ました。(親)

世界は今！vol.6

講師:小寺裕子さん(NHK同時通訳者)・小寺次郎さん



ロシアのウクライナ侵攻について丁寧に解説いただいた後、「アジア・太平洋水サミット」から○×△クイズを出題していただきました。

○×△クイズは、言葉の読み取りをまだ練習中の家庭でも、肩肘張らずに楽しく練習に取り組めます。

- 僕は地理や歴史あまりよく分からないのですが、すごく近くに感じたと思いました。まだまだ知りたいことが沢山あり、このような企画をまたやってほしいと思います。(当事者)
- 今起きている事をやさしい言葉で話して下さい、とても良く理解できました。聞くだけでもOKということを快く迎えて下さって感謝しています。(一般参加)

介助付きコミュニケーション方法 練習会

@新宿NPO協働推進センター

会場のイベントの前に短時間で、また、遠方に住む当事者メンバーの来京に合わせて、3年ぶりに開催できました！

読み取りはほとんどの場合手を取ります。重症化リスクの高い方が多く参加するため、抗原検査や体調確認、消毒などの感染症対策を入念に行っています。



- 通訳で本人の表情が変わっていききました。焦らず少しずつ続けていきたいと思いました。(親)
- 昨日は学びの多い貴重な会に参加でき、とても良かったです。一人に合わせたオーダーメイドな指筆談指導は、指筆談ができるようになるためにも、とても有効だと思いました。(一般参加)

初めに講義で視線入力装置でできることを教えていただいた後、参加者一人ひとりの個別相談の時間を設けました。最後にぬり絵ゲームで対戦を行い、とても盛り上がりました。



@新宿落合第一
地域センター/
Zoom

介助付きコミュニケーションは、いつでも使えるわけではありません。介助者がいなくても気持ちを伝える手段を見つけるため、視線入力装置など、機器の紹介や体験にも力を入れています。

- これからみんなと一緒にワクワクするようなゲーム大会とかできたらいいなって思いました。(当事者)
- 本人は体験前から楽しそうで、引地先生の声掛けでやる気が促されて、私の予想以上に目を使っていることが分かり、活用すべき!!と思いました。(親)
- 帰ってから話した時も目をキラキラさせていました。自分の力で仲間と対戦できることって、かなり刺激的で嬉しい体験だったと思います。(親)

認定NPO法人記念コンサート 竜馬さんスペシャル演奏会

ヴァイオリニストの竜馬さん、ピアニストの真島聡史さん、そして今回はチェリストの渡邊啓子さんにもお越しいただき、3年ぶりに開催することができました。会場と併せてYouTube配信も行いました。

声が出てしまうことで、一般のコンサートには行きづらいという方はとても多いです。こつこつのコンサートでは声出しも離席も自由、本人も家族も安心して楽しめます。



@スワンペーカリー
落合店/オンライン

- ボランティアさんが、事前に抗原検査をしてくれていたと知って、安心して参加出来ました。竜馬さんやその仲間たちの演奏に感動しました。(当事者)
- こつこつのコンサートは、主人は勿論、私も心と身体を開放して音楽とだけ向き合える数少ない機会です。心からリラックスし、目の前で奏でられる美しい音に浸れた1時間。本当にありがとうございました。(家族)

オペラゲネプロ鑑賞会

招待：園江治さん(新宿区民オペラ)



@新宿区民センター

第25回新宿区民オペラ実験劇場のゲネプロ(本番同様のリハーサル)にご招待いただきました。ご厚意で毎年ご招待をいただいておりますが、前回回々回はコロナ真ただ中で鑑賞できませんでした。今回の演目は「シンデレラ(サンドリヨン)」。歌声や衣装、生演奏を楽しみました。

- 綺麗な声で目が覚めました。綺麗なドレスを着て踊ってたので、その時は顔を上げて見ました。(当事者)
- 3年ぶりの生演奏と迫力のある素晴らしい歌声に感動しました。今回はよく知っている話だったので、余計にわかりやすく楽しめました。一番前の特等席で、ゆっくり鑑賞させて頂き、素敵なクリスマスプレゼントになり嬉しかったです。(家族)

医療的ケアのある重度障害を持つ4人が生活するアパートを現地で見学しました。入所施設やグループホームと異なり、それぞれの利用者が個別のヘルパーを利用することで、食事や外出などが自由な暮らしが可能になっていました。各部屋に設置されたリフトレールと2台のリフトで、介助者の負担を減らす工夫もされていました。

- みんな医療的ケアがあってもヘルパーさん達が進んでケアをしてくれている様子がとても羨ましかったです。みんな優しく愛のある家だということがよくわかりました。こんな愛のある家に僕も住みたいと思いました。(当事者)
- スーパー近くの住宅地に、駐車スペースが広いお洒落なアパートがある…という佇まい。山田さんが、確固たる意思で何回もおっしゃっていた「施設ではなくアパートです」は、暮らし方であるとともに、ご近所に対する姿勢でもあったと感じました。(親)



先輩の話を聞く

講師：渡邊健一さん



全盲の渡邊健一さんから、どんな風に独り暮らしをしているのか、福祉サービスの使い方などについてお話を聞きました。

- 目の不自由な方の話を聞いたのは初めてでした。見えない自分を想像すると怖かったです。渡邊さんはすごいですね。私達とは又違った不便さがあることや、ヘルパーさんに力を借りたら、一人でも仕事をして暮らして行けることがわかったのが良かったです。(当事者)
- 現地に行けませんでした。お話を聞きすることができて良かったです。皆さんの普段の生活が浮かび、とても勉強になりました。(ボランティア)

コレクティブハウス見学会

講師：宮前真理子さん(NPO法人コレクティブハウジング社 理事)
明星マサさん(社会福祉法人つくりっこの家 理事長)

障害のあるなしに関わらず、共に生活をするコレクティブハウス大泉学園(練馬区)をオンラインで見学しました。精神障害を持つ入居者の方からもお話を伺うことができました。

- みんないろいろとんでもなく大事な話を教えてくれて、とってもいいことを知れました。なんというか、私もコレクティブハウスにみんなと一緒に入りたいです。(当事者)
- 娘は、メガネは通所施設では絶対に外さないのですが、家ではすぐに外したがりです。でも、お話や動画に興味を持ったようで、外すことなく、しっかり聞いて見ていました。(親)



将来を考える年齢に来ている方が多く、6期は住まい方が重要なテーマになりました。

脳幹出血で倒れ、絶望的な状態からリハビリを続けて奇跡的な回復を遂げる宮田俊也さんと、宮田さんを支える周囲の人々の姿を描いたドキュメンタリー映画『僕のうしろに道はできる』を上映しました。上映後、出演している大野剛資さんからお話を聞きました。



- 3年半振りの会場参加でしたが、皆さんのお顔をみられてすごく嬉しかったです。やはり、対面がいいと思いました。当日は、メンバーの皆さん全員が発言できて良かったです。(当事者)
- 僕はこの映画は何度も見たことがあるのですが、一番言いたいことがストレートに伝わる映画だと思います。大野君にもゲストスピーチで来てもらえてとても良かったです。(当事者)
- 何回観ても感動します。これからも上映してくださいと良いなと思いました。(ボランティア)

テキスト制作委員会

こつこつで2020年に制作したテキスト、『重度障害者といわれる「私たち」のトリセツ―「私たち」と話ませんか―』に続いて、介助付きコミュニケーション方法に実際に取り組みたい方向けの冊子「実践編」の制作を進めています。



- 誰かの質問にいろんな人が答えることによって、疑問に思っていたことや行き詰まっていたことが解決して前に進めるかもしれないと思いました。(当事者)
- 新しい参加者が居ると、新しい意見もあって、それが気づきに繋がりました。(親)

公開会議



6期の活動の振り返りをした後、7期やそれ以降の中期的・長期的な計画として、何をしていきたいか、何をしていくべきかを話し合いました。会場では会議の前に、介助付きコミュニケーション方法の練習会を短時間で開催しました。

遠方の方にも参加してもらえよう、できる限りハイブリッド形式を取っています。会場開催は毎回状況が異なり、ボランティアの皆さんがいなければ成り立ちません。心から感謝しています。

- 通訳してもらって、お話が出来たり、お友達とも握手できて楽しかったです。(当事者)
- 参加者皆様の自分の思いを伝えたいという熱い気持ちをうけて、改めて伝えること、伝えることの大切さが身に染みました！参加でき大変勉強になりました。(ボランティア)
- ハイブリッドだったので、多くの方とお話することができて、とても有意義な時間でした。(親)



障害があってもなくても一緒に楽しく遊ぼう！
交流事業 よりみちサロン

コロナ禍で、西新宿児童館での子どもたちとの遊び場づくりはお休み中です。
オンラインでも子どもたちとつながれたらと、当事者メンバーを中心に今期もほぼ毎月話し合いを重ね、イベントを実施しました！

音楽療法／コンサート

講師：西村直人さん(NPOえほんうた・あそびうた代表理事)



初めての親子も参加していただき、音楽や言葉遊びを通して皆さんで楽しみました。参加者がその場で提案した言葉をつなげて、即興でメロディーをつけて曲にしてくださいましたのも好評でした。

協力：新宿区社会福祉協議会

- ・ 私の喋った言葉を歌にしてくれて、とっても恥ずかしいうれしい、じんじんしました。私も次は歌詞を作りたいです。(当事者)
- ・ 楽しかったです。音楽のことを易しく分かりやすく教えて貰えて、勉強になりました。絵本の歌が本人、最もノリノリだった様に思います。(親)
- ・ 支援学校で勤務しています。今回内言を信じる力、子どもたちの言葉に触れ、嬉しく言葉を聞いてました。(一般参加)



児童館・幼稚園・保育園・学校など、子どもたちと一緒に遊べる場所を探しています！

よりみちコンサート(2019年、西新宿児童館)

コロナの影響で、10年弱ボランティアに来てくれていた「早稲田大学ボランティアサークル積木の会」が解散となり、大学生とのつながりが薄くなってしまいました。当事者と子どもたちをつなぎ、一緒に楽しんでくださるボランティアを募集中です！



相談事業

本人の気持ちを聞きたい

本人の言葉を周りに理解してもらえない

介助付きコミュニケーションについて知りたい

勤務する施設で広めたい

・・・といった相談11件に、メール・電話・家庭訪問・事務所での面談などで対応しました。内容に応じて、通訳支援者の派遣、当事者が同席してのピアサポート、専門機関の紹介などを行いました。こつこつや介助付きコミュニケーション方法を人づてに知り、新たに活動に参加されるようになった当事者も2名いらっしゃいました。

コロナ禍前は「出張講座」として、学校や福祉施設を訪問していましたが、最近は先方の希望もあり、オンラインで実施しています。学生さんには、こつこつ制作のテキスト『重度障害者といわれる「私たち」のトリセツ―「私たち」と話ませんかー』を事前に読んでから、参加していただきました。

首都医校 交流会

共催：学校法人日本教育財団 首都医校
協力：新宿区社会福祉協議会

2014年に始まった交流は10回目を数えます。昨年同様Zoomにて、作業療法士科の学生10名と教員4名、こつこつからは9名の当事者と家族、スタッフが参加しました。今回は動画で学校や学科の紹介もしてくださいました。お互いの自己紹介を○×△クイズを交えて行った後、学生さんの質問に当事者が答えました。



Q(学生):医療者との関わりで嫌だなと思った経験があったら知りたいです。

A(当事者):私にちゃんと向きあって話しかけてほしい。私のことなのに親とばかり話して勝手に決められてしまうと残念に思う。

Q(学生):言いたいことが伝えられなかったときはどのような感情になりますか。また、医療者側はコミュニケーションに失敗してしまったときどのような対応をすればいいのでしょうか。

A(当事者):言いたい事が伝わらなくても僕は気にしません。聞いてくれる気持ちがうれしいので。失敗を恐れずにやってほしい。気持ちはいつか必ず伝わるようになります。

成蹊大学 交流会

共催：成蹊大学ボランティア支援センター



成蹊ボランティアプログラムのボランティア体験として、Zoomで交流を行いました。2日間で26名の学生と、のべ12名の当事者が参加しました。○×△クイズを取り入れた自己紹介、『トリセツ』の感想共有、学生の質問に答えるコーナーなど、盛りだくさんの内容になりました。

- 最初はコミュニケーションがとれるのか不安でしたが、交流会を通して、意思疎通できているんだと感じました。障害のある方々が、口で想いを伝えられなくても、他のさまざまな方法でコミュニケーションをとっており、とても驚きました。
- トリセツを読んでから、障害のある方々の動きであったり、言葉であったりが、思いや気持ちを伝えようとしているということが分かったので、同じ時を過ごせて気持ちが伝わっているように感じて嬉しい気持ちになりました。
- 皆さんの言葉一つ一つに学びがたくさんあった。特に「できないことだけで私たちを見て判断しないでほしい」という言葉にはっとした。

会計報告

2022年度 活動計算書

2022年6月1日～
2023年5月31日

◇経常収益

- ・ 正会員35名、賛助会員82名、寄付者のべ62名からご支援をいただきました。認定の基準(100名以上)は満たすことができませんでしたが、前年度よりも賛助会員と寄付者のべ人数は減少しています。
- ・ 助成金は新宿区社会福祉協議会より、補助金は経済産業省よりいただきました。詳細は11ページをご覧ください。
- ・ 事業収益は、新型コロナウイルス感染症対策のために、会場参加人数の制限を設けたことなどにより、参加費の減収がありました。

◇経常費用

- ・ 事業費は、イベントの際の講師謝金・会場費・交通費などに充てています。
- ・ スタッフ・ボランティアが継続して関わりやすくするため、有償ボランティア謝金の運用を開始しました。半期ごとに見直しを行います。

		(単位：円)	
	科 目	金 額	小計・合計
【A】	経常収益		
1	受取会費		681,000
	正会員入会金	1,000	
	正会員受取会費	350,000	
	賛助会員受取会費	330,000	
2	受取寄附金		1,454,000
	受取寄附金	1,454,000	
3	受取助成金等		1,015,000
	受取助成金	15,000	
	受取補助金	1,000,000	
4	事業収益	177,000	177,000
5	その他の収益		32
	受取利息	32	
	経常収益計		3,327,032
【B】	経常費用		
1	事業費		
	(1) 人件費		0
	役員報酬	0	
	給料手当	0	
	法定福利費	0	
	(2) その他経費		1,467,339
	会議費	32,561	
	旅費交通費	131,743	
	通信運搬費	107,679	
	消耗品費	201,811	
	印刷製本費	22,855	
	修繕費	0	
	諸謝金	311,000	
	ボランティア謝金	142,000	
	協力者謝礼品費	8,900	
	新聞図書費	0	
	会場費	64,000	
	諸会費	3,000	
	業務委託費	0	
	賃借料	82,500	
	保険料	12,172	
	地代家賃	324,000	
	研修費	0	
	保守料	9,801	
	支払手数料	13,317	
	事業費計		1,467,339
2	管理費		
	(1) 人件費		0
	役員報酬	0	
	給料手当	0	
	法定福利費	0	
	(2) その他経費		444,127
	会議費	70,765	
	旅費交通費	47,261	
	通信運搬費	78,694	
	消耗品費	35,831	
	印刷製本費	5,975	
	修繕費	0	
	諸謝金	15,000	
	ボランティア謝金	87,000	
	協力者謝礼品費	2,376	
	新聞図書費	596	
	会場費	0	
	諸会費	0	
	地代家賃	36,000	
	研修費	10,000	
	保守料	34,089	
	慶弔費	0	
	租税公課	1,800	
	支払手数料	18,740	
	管理費計		444,127
	経常費用計		1,911,466
	当期経常増減額【A】－【B】・・・①		1,415,566
	【C】経常外収益	0	0
	【D】経常外費用	0	0
	当期経常外増減額【C】－【D】・・・②		0
	税引前当期正味財産増減額①+②・・・③		1,415,566
	法人税、住民税及び事業税・・・④		0
	前期繰越正味財産額・・・⑤		3,499,851
	次期繰越正味財産額③－④+⑤		4,915,417

2022年度 貸借対照表

2023年5月31日 現在

			(単位：円)
科	目	金額	小計・合計
【A】 資産の部			
1	流動資産		
	現金預金	4,860,990	4,937,340
	未収金	0	
	前払費用	76,350	
	流動資産合計・・・①		4,937,340
2	固定資産		0
	(1)有形固定資産		0
	(2)無形固定資産		0
	(3)投資その他の資産		0
	固定資産合計・・・②		0
【A】 資産合計 ①+②			4,937,340
【B-1】 負債の部			
1	流動負債		
	未払金	9,861	21,923
	前受金	9,000	
	預り金	3,062	
	流動負債合計・・・③		21,923
2	固定負債		0
	固定負債合計・・・④		0
負債合計 ③+④			21,923
【B-2】 正味財産の部			
	前期繰越正味財産額		3,499,851
	当期正味財産増減額		1,415,566
正味財産合計			4,915,417
【B】 負債及び正味財産合計 【B-1】 + 【B-2】			4,937,340

◇監査報告

監事の藤本氏・佐藤氏により、2023年7月16日に事務所にて業務監査及び会計監査が行われ、適正であるという監査報告書の提出を受けました。

今後の活動予定

- 11月18日(土) 学習会サロン〈視線入力勉強会〉 講師:引地晶久さん(できわかクリエイターズ)
@新宿落合第一地域センター/Zoom
- 11月30日(木) 普及啓発事業 生活介護事業所&COCOの利用者・職員との交流会 @横浜市
- 12月3日(日) 普及啓発事業 成蹊大学交流会 協力:成蹊大学ボランティア支援センター @Zoom
- 12月17日(日) 学習会サロン〈介助付きコミュニケーション練習会〉 @新宿げやき園

来年1月以降(日時未定)

- ・学習会サロン〈テキスト制作委員会〉 @Zoom
- ・学習会サロン〈自立・住まい勉強会〉 @会場/Zoom
- ・よりみちサロン〈コンサート〉 @Zoom
- ・竜馬さんコンサート @会場
- ・首都医校交流会 @Zoom

※感染症の流行状況などにより、開催を中止・延期する場合があります

*メーリングリスト・Facebook・X(旧Twitter)・LINE公式アカウント・ホームページのカレンダーにてお知らせしています。ぜひ登録・フォローしてください!



LINE公式アカウントができました!

活動のお知らせを配信しています。ぜひ友だち追加してくださいね。

ID:@kotsu2

質問や参加にあたっての相談なども、お気軽にLINEしてください。
事務局のスタッフがお返事します。



○随時

介助付きコミュニケーションについての相談・当事者の言葉の読み取り(通訳支援者の派遣)・活動内容の説明などをご希望の方は、個別に日時を調整させていただきます。事務局までご連絡ください。

ロゴが新しくなりました!

認定NPO法人になり、ロゴの更新をデザイナーの木村里奈さんにお願しました。手のモチーフや色はそのままに、よりつながりを感じられるように、デザインをブラッシュアップしていただきました。
法人としてもよりブラッシュアップしていきます。新しいロゴもどうぞよろしくお願します!



6期 賛助会員・寄付者の皆さま

※敬称略

Ken Nishikawa	長 慎吾	柴田 保之	原田 啓子
青田 亜希子	柿沼 浩三	清水 香名子	原田 美知子
赤坂 誠	梶 明子	春藤 かづ子	廣瀬 誠子
浅野 加津子	兼重 崇子	正坊地 雅彦	深野 せき子
浅見 京子	北川 啓子	末富 光子	藤澤 恵子
浅見 英男	木原 雅子	鈴木 敏子	藤澤 良子
足立 治朗	木原 雄一郎	園江 治	藤野 篤子
足立 己幸	清宮 孝子	高須 照美	古米 弘幸
居駒 洋子	栗原 和子	高橋 千恵子	松尾 尚美
伊藤 圭子	栗本 昌英	竹口 ひかり	松本 由佳
伊藤 洋子	栗山 翔太	竹口 裕子	明珍 崇彦
今井 康之	小西 みつる	武山 幸生	森安 英憲
上瀧 大	木庭 恵美子	田島 寛久	山岸 里美
植村 玲子	小林 恵美	田中 淳子	山田 裕子
内田 智子	小松 真美	田中 久子	山中 大地
内田 信子	佐々木 幸司	田中 宏美	山中 昇
海老原 麻里子	佐々木 弥生	蔡 傳偉	吉川 真知子
大谷 美聡	笹本 健	中込 美和	吉村 磯孝
大津 万喜子	佐藤 美佳	成瀬 史恭	渡邊 健一
大塚 彰	鮫島 正純	長谷川 栄	渡辺 智子
大塚 文子	澤入 利夫	長谷川 智弘	渡辺 睦子
大野 伸子	柴田 愛乃	羽田 吉隆	株式会社 清優社
沖田 由紀子	柴田 奈苗	速水 諄一	(株)埼京エンジニアリング

*他にもたくさんの方よりご支援をいただいております。お名前の掲載を希望されなかった方につきましては、掲載を控えさせていただきました。

*2022年8月23日以降の「寄附金受領証明書」は、認定NPO法人への寄付として、確定申告の際に申告することで税制上の優遇措置を受けられます。

助成金等お世話になった皆さま

※敬称略

- ◆経済産業省 事業復活支援金・・・事業費として
- ◆社会福祉法人新宿区社会福祉協議会 令和5年度ふれあい・いきいきサロン
新型コロナウイルス感染症対応のための活動助成・・・抗原検査キット代として
- ◆新宿区民オペラ・・・本公演・ゲネプロ招待



事業運営や会計作業を担ってくださる方を探しています

こつこつでは現在、50～60代のスタッフが多くを担っています。今後も活動を続けていくために、若手の支援者を増やしたいと考えています。

スタッフみなNPO法人については素人で、研修で学びながら設立・認定取得まで進んできました。それぞれの得意・関心のある分野で、できる範囲で関わっていただくことを一番にしています。スタッフ間は年齢関係なく、和気あいあいとした雰囲気です。

こつこつを実務で支えたいと思ってくださる方がいらっしゃいましたら、ぜひお声掛けください。ボランティアから大歓迎です。

*交通費・通信費・・・支給あり

*有償ボランティア謝金・・・支給あり(半日1,000円／一日2,000円) ※変更の可能性あり

ご支援のお願い

こつこつは「見た目では判断されず、誰もが人として意思を尊重される社会」の実現に向けて、今後もさらに活動を広げていきます。

活動にご賛同いただける方は、賛助会員(年会費1口3,000円 個人1口／団体3口～)としてぜひ継続してお力をお貸しください。

昨年8月に認定NPO法人として認められ、こつこつへの賛助会費・寄付金は寄付金控除の対象になります。

①銀行振込

口座名 NPO法人こつこつ／トクヒ)コツコツ

ゆうちょ銀行から 00100-8-265697

他銀行から ゆうちょ銀行／〇一九(ゼロイチキョウ)店／当座／口座番号0265697

お手数をお掛けしますが、送金時のメッセージ欄やメール等で以下をご連絡ください。

・お名前(ふりがな) ・ご住所(個人は自宅・団体は事務所) ・賛助会費／寄付

※報告書等へのお名前の掲載や郵送物を希望されない場合は、併せてお知らせください

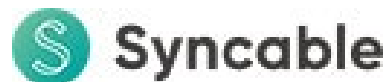
②クレジットカード

Syncableでクレジットカード決済ができるようになりました！

継続してご支援をお考えの方は、毎年自動で決済をする設定にもできます。

ぜひご検討ください。右のQRコードまたは以下のURLからお入りください。

◆Syncable <https://syncable.biz/associate/kotsu2>



認定NPO法人こつこつ

理事長 里見 見千子

Tel/Fax 03-5937-0086

E-mail info@kotsu2.or.jp

ホームページ <https://kotsu2.or.jp>